

木馬会会報(第16号)

* 菊花賞特集 *

～木馬たちの予走(菊花賞編)～

予走者 TP

常勝ビワハヤヒデの惨敗で痛感した“競馬に絶対はない”という格言。冷静に考えればそんなに堅い軸ではなかったかもしれない。穴から入るにしても人気馬の研究はしっかりやらないと駄目だと思いました。

菊花賞

◎…エアダブリン ○…ナリタブライアン ▲…ヤシマソブリン

△…インターライナー、スターマン、バンブーフエリーニ、ウインドフィールズ

…予走者の屁理屈…

このレースの主役は何と言ってもNブライアン。個人的にも3冠馬誕生の瞬間を見てみたいと思っている。しかし軸にできるかとなると？前走休み明けとはいえ差し切られた内容に、秋になって、この馬が抜けた存在ではなくなったことを感じた。また黒鹿毛馬の特徴として、爆発的な能力を示す半面一度調子を崩すと脆い、ということがあげられる。ということで、実質的な潜在能力ではNブライアンに確かに劣ると思うが、軸はAダブリン。何と言っても騎手が神様岡部様。この馬も、岡部でなきゃかわないよ。一昨昨年レオダーバンとタイプがそっくり。そして、岡部様に前走後“ブライアンが近い存在に感じられた”と言わせたところじゃあ2着は外しません。この軸はビワより堅いと思う。○はNブライアン。馬券を離れば勝ってもらいたいと思っているんだから。Yソブリンは前走鋭い脚を使い過ぎ。また、知る人ぞ知る岡部-坂井の強力ラインからもAダブリンには勝たない。この3頭は強力と思うが、絶対とはいえないのが競馬。特にほとんどの馬が走ったことのない3000m。他の馬にもチャンスがないわけではない。しかしSマンとWフィールズは距離的な不安がある。

予想者 覆面デスラー

菊華賞

筆者にとって、菊華賞は毎年悔しい思いをしているレースである。それもそのはず、1点買いの1着、3着を2年連続、その前の年も1着、3着で悔しい思いをした。昨年は、ビワとウイニングに午前中のレースで的中した万馬券全部をぶちこみ、一昨年は、ライス-マチカネの1点勝負。さらにその1年前は、レオダーバン-フジヤマで惜敗。この時のフジヤマは絶対にイブキマイガクラに差されていないと今でも筆者は思っている。(この時はビギナーズラックも手伝ってか一応押さえていたのだが)

このように、今一歩ツメの甘い、“ギリ足”の筆者であるが、今年も懲りずに1点か2点くらいで勝負といきたいものだが…

それでは、本題に入ることにしよう。

トライアルを2着に敗れはしたが、それでも本命視されるブライアン。本当に3冠を達成できるのだろうか。これまでの実績や初距離もこなせるとの血統的裏付けは認めるものの、目前にして敗れ去ったミホノブルボンも3冠を目前にして敗れ去っている。また絶対視されていた兄ビワハヤヒデも先週の天皇賞で敗退した。強力な運とそれ以上の何か味方しないと、3冠達成は難しいと考える。夏を越えて、明らかに他馬との実力差も接近しており、敢えてブライアンは押さえまでとする。

本命は関東のエース、ヤシマソブリン。ダービーではナリタ、ダブリンに先着されたが、安定したレースぶりをみると、この馬の成長力ははかりしれない。少なくともダブリンには絶対に負けないと断言する。対抗はスターマン。距離不安など、何のその。折り合った時のこの馬の瞬発力は4才では一番。◎から○を大本線に◎から▲の2点で勝負といきたい。

ここで、去年までの筆者であったら、スターマンのような上がり馬を絶対に買わなかったであろうことを一言付け加えておく。

◎ヤシマソブリン

○スターマン

▲ナリタブライアン

予想者　へなりん

ハヤヒデが負け、ウイニングが負け、そして私も負けた。完敗である。最後の直線で内から善臣タンホイザがジリジリと上がってきたときには、本当に声がかかるくらいに応援した。でもダメだった。彼にしては良く頑張ったと思う。AJCCくらいでまた勝てるだろう。ガンバレ・タンホイザ！そして頑張れ・へなりん！（きっと笑っているんだろうな、ミスターXさんは。でもあなたは頑張ってもですよ、きっと。やべー）
↑ご自由にどうぞ

菊花賞

○…ヤシマソブリン　○…ナリタブライアン
△…ウィンドフィールズ　△…ラグビーカイザー

京都新聞敗だったナリタブライアンの3冠がかかる今回の菊。前走については休み明けだからしょうがないと言われているが、私はそうは思わない。皐月賞・ダービーで化け物のような桁違いの強さをみせつけた馬が、休み明けだからといって、スターマンに差され（確かに強いが）ダブリンらの馬に差を縮められるというのはちょっとおかしい。体調に少し疑問があると私は見て評価を下げる。とはいっても対抗以下には下げれるわけはなかろう。そこで、自信の大本命はヤシマソブリン。長距離に不可欠なスタミナは十分持っており、菊を睨んだ中3週のローテーションもしっかりとしていて好感が持てる。前走を見る限り夏場も無事に過ごせたようで、体調に関しては何の不安もないのは1番であろう。いい脚を長く使えるのは最大の武器になるし、動きたい時に動け、気性に何の問題もないのもいい。坂井千明がずっと付きっきりで調教をつけてきており、この馬をおいて他に本命はいない。このソブリンライアンが大本線になるが、ブライアンが想像以上に走れなかった時にはセントライトの2頭ウィンドフィールズとラグビーカイザーが浮上することになるだろう。いずれにしてもヤシマソブリンの軸は強く、オッズ次第では単勝で勝負してもおもしろい。

予想者　ミスターX

菊花賞

◎…ラグビーカイザー　○…ナリタブライアン　▲…ゴーゴーゼット
△…キョウトシチー　△…ヤシマソブリン　△…スターマン

…予想者の屁理屈…

G1シリーズ第1戦はセキテイリュウオーに◎をうっておきながらとりこぼしをしてしまいショックの色を隠せない今日この頃であるが、気持ちを取り直してシリーズ第2戦の予想に入るとする。穴党はあくまでも穴。しかし、ナリタブライアンを○以下にさげられない自分が腹立たしい。でも、◎と▲をジックリと見て欲しい。確かに一見無謀にも見える予想かも知れないが木馬会諸氏がセキテイ君に印を付けられなかったように何があるか分からないのが競馬である。110回で1番10番なら今回は、ラグビーカイザーの母親に注目して欲しい。な、なんとキクウイナである。さらには第55回菊花賞となればゴーゴーゼット。これはちょっとビリの可能性をのこしているが……。加えて7番に■入ればキョウトシチー。と、こんな事を言って当日違う馬券を購入しているのがミスターXである。きっと当日はナリタ、ヤシマ、スターの3点買いにしている気がする。

何故なら先週までの負け込みで家族の顔がちらついたからだ。誰だ？それなのにこんな予想するなど言っているのは……。へな、お前が一番怪しいぞ。

…最後に一言…

残念でしたヒシワールド君。

そして、競馬場は父兄同伴が新しい。FORへな。

予想者　ナニワのラッキー

菊花賞

◎…ナリタブライアン　○…ヤシマソブリン　△…エアダブリン

…予想者の屁理屈…

G1はしりとりゲームである。はるのG1を見ても分かるが、梓連のどちらかが次の片割れを担ぐ。よって2か7をからませるといいんじゃないか。天皇賞・秋ではビワの故障はかわいそうであった。ウマってのはあそこまでケナゲに走るのか。私だったらその場で寝てしまう。第110回というので原子力の110万kwクラス、即ち、トウカイテイオー、あっ、ダメか。1-10にあやかって、今回5-5もある。

クラシックの最終章菊花賞、皇帝以来の三冠馬達成という歴史的場面に我々は対峙している。菊花賞は血が走ると思っているので血統面から分析してみると、Nブライアン（注）の父はRシャワーと同じロベルト系、母はBハヤヒデと同じという菊花賞の申し子、3歳からの出走数や血統からみてこの馬は来年の春ぐらいいまでしかもたないと思うが現時点での完成度ではずば抜けている。関東の切り札Yソブリンは大レースに強いMジョージ産駒、距離の三千は母方からみても望むところ。Eダブリンは父がTピンで2000～2400がベストだが母方に大御所ニジンスキーの血が流れているためおそらく大丈夫であろう（世間が言うほど菊花賞向きとは思わない）

以上からズバリ、Yソブリンと心中だ。岡部に捨てられてから馬が変わったように走り、最近では中団からのマクリを覚えて菊花賞対策も万全、最後にはMリーフの血が勝たせてくれよう（Rシャワーが勝った時のように余計なことしゃがってと怒号が起きる場面が目（注）かぶ）。相手は連を外すことが考えられないNブライアンで決まり。オッズを考えると一点勝負だが、神様仏様岡部様が前々走では怪我がないように最後方から大外（馬券を買ったファンはたまらん）、前走では菊花賞で勝つ位置取りを覚えさせたEダブリンがどうしても不気味なのでYソブリンとの組み合わせを少々押さえてみる。

上昇馬Sマンは開幕週の絶好馬場を味方に最内を通過してイン強襲の作戦だろう。直線に坂がない京都といい確かに怖い存在だが、この馬が来たらあきらめる（距離は血統的には十分こなせると思う）。

Wフィールズ、Rカイザーのセントライト組も魅力があるが、例年どおりダービー組が力でねじ伏せるであろう。

それにしても先週の天皇賞は1着から13着が0.9秒差の大激戦、故障ながらも直線伸びてきたBハヤヒデの根性には胸が熱くなった（ポッキリいかないで本当に良かった）。Sチトセオーは小島が珍しくインを強襲したが、なれないことをしたため前をカットされ残念な結果になった。それにしても左によれている馬に右ムチをいれた騎手とJRAのパ（注）ール委員にはちょっと残念。しかし毎日王冠と天皇賞連覇とSユタカオーの再来を彷彿させるNシーザーにはちょっぴりホレてしまったのだ。

予想者 トウインクルダンディ

菊花賞

◎…ナリタブライアン ▲…マルカオーカン △…スターマン、ラグビーカイザー
…予想者の屁理屈…

先週同様、単勝1倍台になりそうなナリタブライアンだが、ビワハヤヒデと違って死角は見当たらない。5頭目の三冠馬誕生はほぼ確実だろう。もしかしてあるとすれば騎手の腕を考えて京都巧者の河内のマルカオーカン（注）を単穴にした。距離がどうこういわれるがスローペース必至の菊花賞、それ程長距離血統でなくても上位は可能とみてスターマンを厚めにラグビーカイザーまで連下に加えれば当たるような気がします。（ちなみに私は菊花賞は相性のいいレースです）

根岸ステークス

◎…アイオーユー ○…フジノマッケンオー

人気でも距離、ダート適性を考えて上記2頭の一点勝負でまだまだ続くG1レースに備える資金をためましょう。

ついにトゥインクルレースは終了してしまいましたが、来年4月からは馬番連勝も始まります。一層熱くなりそうです。しかしながら大井の雄・ツキノイチバンの死は残念です。

予想者 四国の井崎

菊花賞

ダービーの1～3着が揃って顔を揃える。しかしそれ以外のダービー組はマルカオーカン1頭と寂しい限り。それだけサラブレッドは消耗が激しいということを示している。無事にきたナリタブライアンは凄腕。今回はダービー組とそれ以外のメンバーでは力の差があると見る。上がり馬では芝4連勝のスターマン、ダービー無念の除外のバンブーフエリーニだけが勝負になる。

◎ナリタブライアン 負けない！3冠達成だ！

○ヤシマソブリン 走りっぷりがステイヤー。前走レコード勝ちが素晴らしい。

△エアダブリン トニービンの勢いが落ちて来た。パドックで良く見えるがだまされないように

△スターマン 距離不安も、兄イブキカミナリモンが2500m(900万)を逃げ切っている。

注バンブーフエリーニ 調教が最高の出来。ダービーの無念を晴らすか。

今回は荒れない。1年振りの開催で例年内にゴチャツク展開もなく不利もでないだろう。力の勝負。ナリタブライアンから3～4点に絞って勝負したい。

根岸S

サクラトウコウ産駒のマルタカトウコウと、フジノマッケンオーの一騎打ちか。両馬とも強い！

第55回 菊花賞

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番 号
ラグビーカイザー	ヤシマソプリン	マルカオーカン	フェスティブキング	バンブーフエリーニ	ナリタブライアン	ドラゴンゼアー	トウショウブリーズ	ステイールキャスト	スターマン	サムソンビッグ	ゴーゴーゼット	キョウトシチー	エアダブリン	ウインドフィールズ	インターライナー	イイデライナー	アドマイアコール	馬 名
...	...	...	...	△	○	...	...	...	△	...	...	...	◎	△	△	...	...	T P
...	▲	...	...	...	▲	...	...	...	○	...	...	...	...	...	...	...	...	覆面デスラー
△	◎	...	...	...	○	...	...	...	...	...	...	...	...	△	...	...	...	へなりん
...	◎	...	...	...	▲	...	...	...	※	...	...	...	△	...	...	...	...	ラッキー
△	...	▲	...	...	◎	...	...	...	△	...	...	...	...	...	...	...	...	トリイクルダンディ
...	◎	...	...	...	▲	...	...	△	△	...	...	...	○	...	△	...	...	ジュワイヨクチュール
◎	△	...	...	...	○	...	...	...	△	...	▲	△	...	...	...	...	...	ミスターX
...	◎	...	...	...	△	...	...	...	○	...	...	...	△	▲	...	...	...	Y O
...	○	...	...	...	◎	...	...	...	...	...	...	...	△	...	...	...	...	ナニワのラッキー
...	○	...	...	×	◎	...	...	...	△	...	...	...	△	...	...	...	...	四国の井崎

↑
ラッキー氏の※はくるかもしれないけど
きてもらっては困るマーク